



天文台だより

銀河の森天文台
2016 秋号
Vol.73

7/9、陸別スターライトフェスティバルを開催しました！



金星探査について講演する中村正人JAXA教授

7月9日、第8回陸別スターライトフェスティバルを開催しました。今年は、中村正人JAXA教授の講演会「世界の金星探査と日本の挑戦」とアンサンブルグループ「奏楽(そら)」によるミニコンサート「星空に響くアンサンブルの調べ」を開催しました。

講演会では、日本の金星探査機「あかつき」による最新の観測

測についての解説や金星周回軌道投入までの苦労話など貴重なお話を聞くことができました。

ミニコンサートでは、JAXA中村先生もサプライズでピアノ演奏をされ、奏楽さんとのピアノ連弾ではリハーサルの時間がほとんど無かったにもかかわらず息の

合った演奏を披露されました。

今回のフェスティバルは、陸別中学校ボランティア部の協力や天文台屋上屋台オープンなど、8回目によりパワーアップしたイベントになりました。



「奏楽」によるミニコンサートの様子

「館長コラム」上出洋介(牡牛座)

「秋の夜長」。なかなか夜が明けないとき、じっくり考え込む恰好の問題があります。「 $e^{i\pi} = -1$ 」という関係はオイラーの式と呼ばれ、見れば見る程不思議です。 e は、2.71828...、 π はご存知の円周率 3.141592...。いずれも無限に続く定数なのに、なぜか*i*という虚数単位(自乗すると-1になる量)が間をとりもつのです。



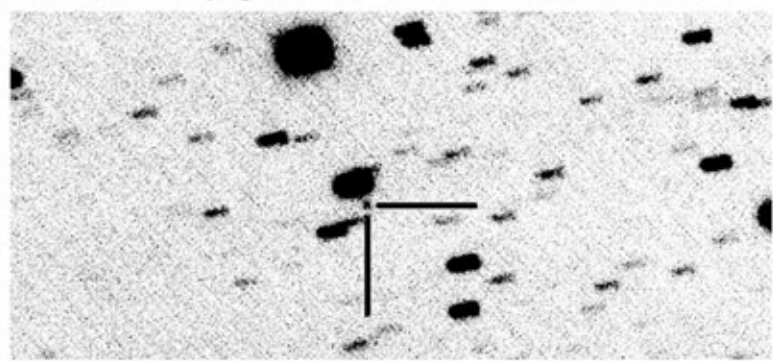
(上出洋介館長)

さて、館長に着任して7年が経ちました。全国には、実に多くの天文台や科学館がありますが、それらが長続きするには、町民に強く支持されていることが条件の一つです。そこで私は、小中学校の先生方、商工会、婦人サークルなど、町民の代表からなる「運営協議会」を発足させ、運営や特別事業について前向きな提言をいただくことにしました。すでに年数回の会議が召集され、新しい展示物やイベント、出前授業などについて、積極的な発言をいただき、実現可能な提案から実行に移しております。運営協議会などといういかめしい名とはまるで異なり、やさしい雰囲気の中での会合です。意見をお持ちの方はどんどん参加していただきたいと思ひます。

7/9、小惑星「リュウグウ」を観測！

7月9日未明、大型望遠鏡「りくり」にて小惑星探査機「はやぶさ2」が目指している小惑星「162173 Ryugu(リュウグウ)」の撮影に成功しました。画像中心の小さな黒い点が小惑星「Ryugu」です。

小惑星「Ryugu」は地球に接近する軌道を持つ地球接近小惑星(NEO)のひとつで、大きさは900m程度と推定されています。撮影時は地球から約6250万kmの距離にあり、はやぶさ2は2018年に「Ryugu」へ到着し、2020年末には地球へ「Ryugu」のサンプルを持ち帰る予定です。



小惑星「162173 Ryugu(リュウグウ)」

2016年7月9日 1:38~1:46 JST、露出1分を8枚コンポジット、諧調反転 115cm反射望遠鏡(F5.6) ISO12800 CANON EOS 6D改

暦表

(陸別町)

	日の出	日の入	月齢	月の出	月の入
10月 1日	5:19	17:10	0.1	5:12	17:25
10月 15日	5:35	16:46	14.1	16:21	4:00
11月 1日	5:57	16:20	1.4	6:56	17:28
11月 15日	6:15	16:04	15.4	16:54	6:32
12月 1日	6:34	15:54	1.6	7:35	17:28
12月 15日	6:47	15:54	15.6	17:24	7:33

天文行事&暦

10月

- 1 ●新月
- 8 寒露(24節気:太陽黄経195°)
- 16 天王星が衝
(光度:+5.7等, 視直径:3".7)
○満月
- 21 オリオン座流星群が極大
(PM2時 最大15個/時)
- 23 霜降(24節気:太陽黄経210°)
- 31 ●新月

11月

- 7 立冬(24節気:太陽黄経225°)
- 12 驚き! おもしろ科学実験2016
- 14 ○満月
- 17 しし座流星群が極大
(PM7時 最大10個/時)
- 22 小雪(24節気:太陽黄経240°)
- 29 ●新月

12月

- 7 大雪(24節気:太陽黄経255°)
- 11 水星が東方最大離角
(光度:-0.4等, 離角:20°.8)
- 14 ふたご座流星群が極大
(AM9時 最大30個/時)
○満月
- 14, 15 ふたご座流星群観望会
- 21 冬至(24節気:太陽黄経270°)
- 29 ●新月

秋のイベント情報 !!

☆驚き! おもしろ科学実験2016

北海道大学、名古屋大学、北見工業大学の先生・学生が行う「驚き! おもしろ科学実験2016」を開催します。液体窒素を使った実験など様々な実験が登場します。

開催日時: 11月12日(土)

科学実験コーナー: 午後1時~6時

ミニ講演会: 放送大学 谷口義明教授

演題「天文学者になってみた - 谷口少年の場合」

※ 開館中は大型望遠鏡での通常観望も常時行っています

拝啓、天文台より - 「秋の気配」 -

周りの樹々の枝先に、ぽつりぽつり、黄色い葉が混じるようになりました。秋の訪れを感じます。夜に鳴く虫もすっかり、秋の声をしています。雪が本格的に降り始めるまで、しばらくの間、葉が落ち、気温が低くなる日々を感じることにになりそうです。「秋の日はつるべ落とし」の言葉どおり、あっという間に空が暗くなるこの季節。秋の行楽、お帰りの際には、ぜひ銀河の森天文台へお立ち寄りください。秋晴れの夜空がみなさまをお待ちしております。(守)



☆ふたご座流星群観望会

ふたご座流星群が12月14日の午前9時に極大時刻を迎え、これを前後して流星が多く見られると予想されるため観望会を開催します。

開催日時: 12月14日(水)、15日(木)

説明会: 午後7時30分から

ペッコカめぐり「肉眼でどこまで見える?」

秋の代表的な天体、M31(アンドロメダ銀河)とM33(さんかく座銀河)は共に肉眼で見ることのできる最も遠い天体と言われています。距離はM31が230万光年、M33が250万光年とされ、M33の方が遠いように思えます。しかしこれらの距離は測定誤差を含んでおり、実際にどちらの方が遠いのかははっきりしていないのです。また、M33はM31よりも暗く、M33を肉眼で見ることができる人は少ないでしょう。そのため、ほとんどの人は230万光年離れたM31が肉眼で見ることができる最も遠い天体となります。(中)



天文台からのお知らせ

☆ 10月より開館時間が、13:00~21:30となります。
(昼間13:00~17:00、夜間17:00~21:30)

☆ 年末年始12月30日(金)~1月5日(木)の期間は、天文台休館日となります。

発行・編集: りくべつ宇宙地球科学館(銀河の森天文台)

〒089-4301 北海道足寄郡陸別町宇遠別 TEL: 0156-27-8100 FAX: 27-8102

URL: <http://www.rikubetsu.jp/tenmon/index.html>

E-mail: ginga@rikubetsu.jp